大阪ガスのお問い合わせ先

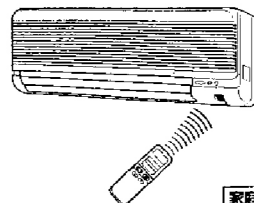
大阪事業本部	〒550-0023	大阪市西区千代崎3丁目南2－37	電話 大　阪 06 (586)1122
南部事業本部	〒590-0373	堺市住吉橋町2－2－19	電話 　堺 0722(38)1131
和歌山支社	〒640-8033	和歌山市本町1－5	電話 和歌山 0734(31)2481
北東部事業本部	〒578-0925	東大阪市稲葉2－3－17	電話 河　内 0729(62)1131
北部事業所	〒569-0025	高槻市藤の里町39－6	電話 高　槻 0726(71)0361
奈良支社	〒631-0036	奈良市学園北2－4－1	電話 奈　良 0742(44)1111
兵庫事業本部	〒650-0044	神戸市中央区東川崎町1－8－2	電話 神　戸 078(360)3100
姫路支社	〒670-0836	姫路市神屋町4－8	電話 姫　路 0792(85)2221
豊岡支社	〒668-0047	豊岡市三坂町6－57	電話 豊　岡 0796(23)2221
京滋事業本部	〒600-8815	京都市下京区中堂寺粟田町1	電話 京　都 075(311)7381
滋賀支社	〒525-0037	草津市西大路町5－34	電話 草　津 077(562)5311
滋賀東支社	〒522-0074	彦根市大東町12－11	電話 彦　根 0749(22)3131
長浜営業センター	〒526-0056	長浜市南呉服町3－4	電話 長　浜 0749(62)7171
本　社	〒541-0046	大阪市中央区平野町4－1－2	電話 大　阪 06 (202)2221

大阪ガス株式会社

⚠危険

連絡する ガスくさいときはガス栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）大阪ガスにご連絡ください。

20W-1352(01)
M98E003
97.07.(00)●

ガス吸収式冷暖房機
室内機（壁掛型）

家庭用

取扱説明書

品　名	室外機
47-603・604型 47-605・606型 47-607・608型	40-600

このたびは、大阪ガスのガス吸収式冷暖房機をお買い上げいただきましてありがとうございます。
安全にご使用いただくために、機器を使用する前によく読み、十分に理解したうえで使用してください。

- ●この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に大切に保管してください。
- ●別添の保証書は、記載してあるお買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。
- ●来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。
- ●本書を紛失された場合や、ご不明の点があれば機器の製造年月を確かめてお買い求めの販売店にご相談ください。
- ●別添の保証書、室外機の取扱説明書とともに、この取扱説明書をいつもご覧になれるところへ大切に保管してください。
- ●この機器は、国内専用ですので海外では使用しないでください。

大阪ガス

機能と特長

おはよう入タイマ

お望みの時刻に運転を開始いたします。

ワンタッチ切タイマ

1時間単位で運転停止ができます。

ドライ機能

梅雨どきもさわやか

風量自動調節機能

室温に応じて風量をコントロール、またきめこまかな5段階の風量調節

オートルーバ

お部屋のすみずみまで冷温風をとどける「オートルーバ機能」ルーバが上下にスイングして均一な室温をつくりだします。

簡単リモコン

見やすく大きな表示とボタンの簡単リモコン

INDEX

各部のなまえとはたらき……

室外機

室外機については、室外機の取扱説明書をお読みください。

本体表示部

前面パネルを開けてください。

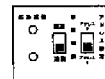
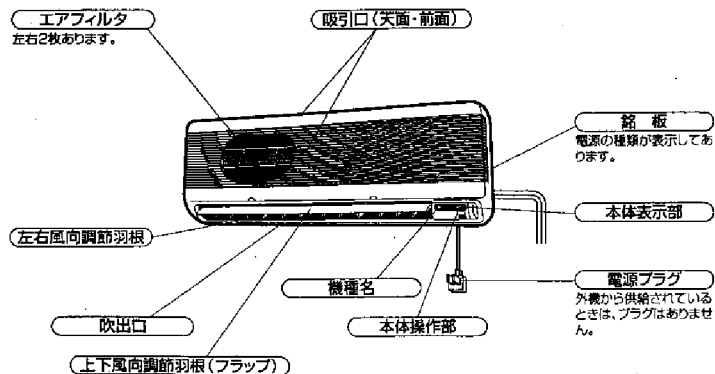
●開けかた

本体左右にある溝の部分に指をかけて、前面パネルを手前に引く。

●閉めかた

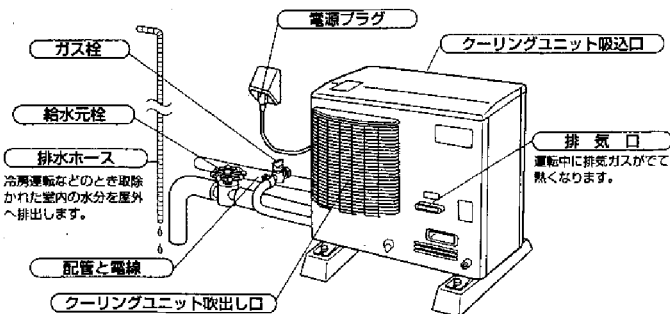
前面パネルを本体側へ「パチン」と音がするまでいっぱい押します。

本体操作部

（冷暖切換スイッチ）と（アドレススイッチ）は、工場出荷時には、右図の位置にセットしてあります。

各部のなまえとはたらき……

47-603・604の場合

室外機

室外機については、室外機の取扱説明書をお読みください。

本体表示部・操作部

各部のなまえとはたらき……

リモコン

運転表示部は、説明のため全部表示した図になっていますが、実際には運転中に、該当部分だけを表示します。

運転表示部
運転状態を表示します。

切タイマボタン
切タイマをセットするときに使います。

時計合わせボタン
時刻合わせをするときに使います。

予約ボタン
入タイマを予約するときに使います。

設定開始ボタン
入タイマ時刻を合わせるときに使います。

運転切換えボタン
運転モード（冷房・暖房など）を変えるときに使います。

スイングボタン
上下の風向調節羽根をスイングさせたり、お好みの位置で停止させたりするときに使います。

送信部
室内機本体へ信号を送ります。

運転／停止ボタン
運転を開始したり停止したりするときに使います。

時刻設定ボタン
時刻合わせをするときに使います。

サービス点検ボタン
サービスマンが使用します。お客様は、操作しないでください。

取消しボタン
タイマ予約を解除するときに使います。

風量調節ボタン
風量設定を変えるときに使います。

室温調節ボタン
設定室温を変えるときに使います。

日頃よく使用する4つのボタンを扉の外に配置しました。
また、暗がりでも操作ができるよう、それぞれのボタンに特徴のある突起をつけました。

リモコン表示部

入タイマ表示
入タイマがセットされていることを表します。

現在時刻表示
時刻表示が現在時刻であることを表します。

ドライ湿度表示
ドライ運転時の湿度設定を表します。

風量設定表示
風量調節の設定状態を表します。

スイングルーバ作動表示
スイングルーバの作動をセットすると表します。

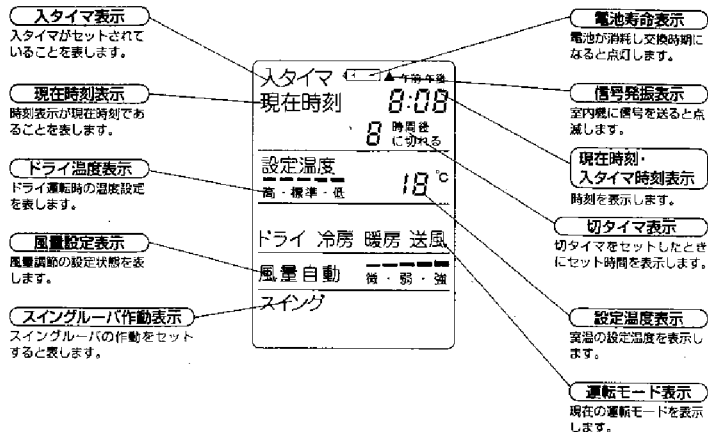
電池寿命表示
電池が消耗し交換時期になると点灯します。

信号発振表示
室内機に信号を送ると点滅します。

現在時刻・入タイマ時刻表示
時刻を表示します。

切タイマ表示
切タイマをセットしたときにセット時間を表示します。

設定温度表示
室温の設定温度を表示します。

運転モード表示
現在の運転モードを表示します。

リモコンのアドレススイッチについて

- 2台の室内機どうしが近くに設置されている場合、リモコンの信号が混信してはたいへんです。アドレススイッチで、それぞれの信号を区別することができます。室内機（受信用）、リモコン（送信用）の両方にアドレススイッチがあり、それぞれを合わせると機能を発揮し、混信の心配がなくなります。（1部屋1台でご使用の場合は調整の必要はありません。）
- リモコンアドレススイッチの合わせかた
  アドレススイッチを調整したあとは、現在時刻、タイマの入切設定がキャンセルされますのでもう一度設定しなおしてください。
- 本体のアドレススイッチの位置
  （47-605・606 / 47-607・608の場合）
  室内機の本体操作部にあります。

（47-603・604の場合）
室内機電装品の内部にあります。アドレススイッチの設定については、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご相談ください。

- リモコンのアドレススイッチの位置
  リモコンの裏面の蓋をはずして電池を取り出しますとその奥にあります。

安全に正しくお使いいただくために…

かならずお守りください

この取扱説明書は、室内機の取扱説明を中心に作成してあります。室外機の取扱説明については室外機の取扱説明書に詳しく記載してありますので合わせてお読みください。

〈安全に正しくお使いいただくために〉
製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

図記号について次のような意味があります。

一般的な危険・警告・注意

一般的な禁止

接触禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

水ぬれ禁止

必ず行う

電源プラグを抜け

据え付け時の注意

⚠危険

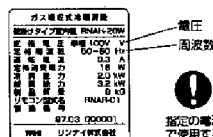
●室外機は、屋外設置型です。
絶対に屋内に設置しないでください。

燃焼排ガスが室内に漏れたり、正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となります。

屋外設置

⚠警告

●室内機の本体右側面の銘板に表示してある電源（電圧・周波数）で使用してください。

間違っていると、修理できない故障や火災の原因になることがあります。
※転居された場合も電源の種類が一致していることを必ず確認してください。

機器の設置上のご注意

⚠警告

●室外機は、増改築などにより屋内状態にしないでください。

十分な給排気ができないため不完全燃焼し一酸化炭素中毒などの原因となります。

禁止

●クーリングユニットのファンから出る風や、排気口から出る排気ガスが周囲の物に当たらないように注意してください。

クーリングユニットからは、湿気を帯びた風が、排気口からは熱い排気ガスが出ます。樹木が枯れたりしますので十分離してください。

禁止

●機器の据え付け及び付帯工事は、お買い上げの販売店または、専門業者に依頼してください。

ご自分での据え付け及び付帯工事をされ不備があると、ガス漏れ・水漏れや感電・火災の原因になります。

販売店または専門業社に依頼する

●機器の修理や移動・再設置は、お買い上げの販売店または、専門業者に依頼してください。

ガス漏れ・水漏れや感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店にご相談ください。

販売店に相談する

⚠注意

●室内機の据え付けは、機器の重量に十分耐えるところに確実に行ってください。

不完全な場合は室内機の落下により、けがの原因になります。

禁止

●ドレン工事は、工事説明書に従って確実に排水するように配管してください。

不確実な場合は、屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。

排水溝へ

●他の目的に使用しないでください。

精密機器・食品・動植物・美術品の保存などには使用しないでください。
品質低下の原因になることがあります。

禁止

●可燃性ガスのもれるおそれのある場所へは設置しないでください。

万一ガスが漏れて機器の周囲にたまると火災など思わぬ事故のもとになります。

禁止

安全に正しくお使いいただくために…

機器の設置上のご注意

⚠注意

●設置場所によっては、漏電ブレーカ取付が必要です。

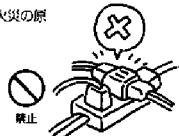
漏電ブレーカが取り付けられていないと、感電の原因になります。お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。

●電源は必ず定格電圧で使用してください。

電源が間違っていると修理できない故障の原因になります。

定格電圧で

●電源コードは、途中で接続したり、延長コードの使用・タコ足配線をしないでください。

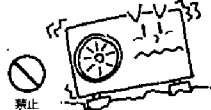
感電や発熱・火災の原因になります。

禁止

●電源プラグは、がたつきのないように確実にコンセントに差し込んでください。

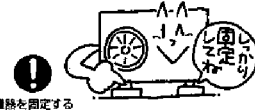
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。

禁止

●室外機は、しっかりした地盤に、傾けずに据え付けてください。

機器が傾いていると衝撃などにより倒れたり、性能がじゅうぶんに発揮できない場合があります。

禁止

●室外機の固定は確実に行ってください。

機器が確実に固定されていないと、衝撃などにより倒れたり移動したりして、思わぬ事故の原因になることがあります。

機器を固定する

●ガス配管は、無理な力や衝撃が加わらないようにしてください。

無理な力が加わるとガスが漏れて室外機の周囲に溜り、発火の原因になることがあります。

禁止

●この機器は家庭用なので業務用には使用しないでください。

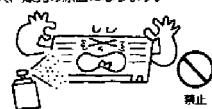
業務用に使用すると著しく寿命を縮める原因になることがあります。この場合の修理は、保証期間内でも有料となります。

禁止

火災予防上のご注意

⚠警告

●ガソリン・ベンジン・スプレーなど引火性のおそれのある物を近くで使用したり、置かないでください。

引火、爆発の原因になります。

禁止

●室内機の吹出口・吸込口に紙、布、異物などを入れたりしないでください。

過熱や火災の原因になります。

禁止

●室内機の上に花瓶などの水の入った容器を乗せないでください。

室内機内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電や火災の原因になることがあります。

禁止

●室内機は水洗いしないでください。

感電や火災の原因になります。

水ぬれ禁止

●室外機の上に洗濯物など燃えやすいものを乗せないでください。

火災の原因になります。

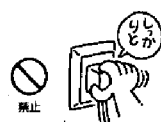
禁止

●室外機の排気口や空気の取入口・吹出口に棒や指を入れないでください。

内部でファンが高速で回転していますのでけがややけどのおそれがあります。

禁止

●電源コード・プラグについての注意

・電源プラグにほこりが付着していないか確認し、根元までしっかりと差し込んでください。
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。

禁止

・電源コードを加工したり、破損していませんか。
感電や火災の原因になります。
重いものを乗せたり、加熱したり、引張ったりすると破損の原因になります。

禁止

・電源プラグでの停止はしないでください。
感電や火災の原因になるばかりでなく機器が故障する原因になります。

禁止

安全に正しくお使いいただくために…

使用上のご注意

⚠警告

●長時間身体に直接冷風・温風を当てないようにしてください。

体調悪化や健康障害の原因になります。
特に体力のない病人、乳幼児、お年寄りにはまわりの人が注意してあげてください。

禁止

●室内機の吸込口や吹出口に指や棒などを入れないでください。

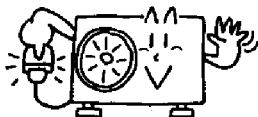
機器内部でファンが高速で回転しており、けがの原因になります。

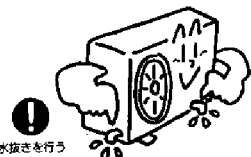
禁止

⚠注意

●冬期には、電源コードを抜かないでください。

凍結予防運転ができなくなり機器が破損することがあります。

禁止

●長期間ご使用にならない時でやむを得ず電源を切る場合は、水抜きを行ってください。（不凍液が入っている場合を除く）

特に冬期に長期間ご使用にならない場合でも、なるべく電源を切らないでください。（凍結予防が働かなくなります。）やむを得ず電源を切る場合は、水抜きを行ってください。
ただし、不凍液が入っている場合は、水抜きをしないでください。
（詳しくは、29・30ページをご覧ください。）

水抜きを行う

●燃焼機器と一緒に運転するときは、こまめに換気をしてください。

換気が不十分な場合は燃焼機器により空気中の酸素が減少し、一酸化炭素中毒の原因になることがあります。

換気する

●室内機の風が直接当たるところや、真下に燃焼機器を置かないようにしてください。

不完全燃焼や熱による変形の原因になります。

禁止

使用上のご注意

⚠注意

●室内機の真下にぬれてこまる物は置かないでください。

湿度が高い場合や、排水ホース内がつまっているときには、露が落ちるときがあります。

禁止

●室内機の上に物をのせ吸込口をふさがないでください。

性能が十分でなくなったり思わぬ事故の原因になります。

禁止

●リモコンに水をかけたり分解などいたずらをしないでください。

誤動作や故障の原因になることがあります。

水ぬれ禁止

●上下風向調節羽根は、手で操作しないでください。

リモコンで調節すると、誤った動きの原因になることがあります。
また、能力が下がったり安全装置が働いたりすることがあります。

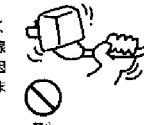
禁止

●ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。

感電のおそれがあります。

ぬれ手禁止

●電源プラグはプラグを持って抜いてください。

コードを引張って抜くと、芯線の一部が断線して発熱・発火の原因になることがあります。

禁止

●機器にぶら下がったり、乗ったり、物を乗せないでください。

落下・転倒などけがの原因になることがあります。

禁止

●室外機排気口付近は、運転中や停止後すぐは熱くなってますので触れないでください。

接触禁止

●長期使用で室外機の据え付け台が傷んでいないか注意してください。

傷んだ状態で放置すると室外機の落下につながりけがの原因になることがあります。

禁止

●市販の補助用具について
この機器専用の付属品あるいは指定の別売部品以外は使用しないでください。

指定の部品使用

安全に正しくお使いいただくために…

異常時の処置

⚠危険

●ガス漏れに気づいたらすぐにガス栓を閉め、お買い求めの販売店または大阪ガスにご連絡ください。

マッチやライターを使用したり、電源プラグの抜き差しや近くの電気機器の「入・切」も行わないでください。
また、周辺の電話も使用しないでください。
火災の原因になります。

連絡する

⚠警告

●万一異常な燃焼、臭気、異常音が感じられた時や地震、火災などの緊急の場合は、あわてずにガス栓および給水元栓を閉め電源プラグを抜いてすぐにお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災や一酸化炭素中毒の原因になります。

電源プラグを抜く

●ご自分での機器の分解・修理・移動や再設置はしないでください。

不備があると感電や火災の原因になります。

禁止

⚠注意

●停電時の処置

- 停電すると自動的にガスが止まり、燃焼が停止します。
- 再通電しても機器が、運転停止状態になっていますので20～26ページの運転のしかたに従って操作してください。

●断水時の処置

- 断水時は給水元栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。
- 再通水したときは、20～26ページの運転のしかたに従って操作してください。

●雷時の処置について

- 近くで雷の音が聞こえたときは、すぐに運転を停止し電源プラグを抜いてください。
（機器周囲に電源プラグがない場合は、機器用屋内ブレーカを切ってください。）
電子部品が故障する原因になります。
- 雷が遠ざかったことを確認したら必ず電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んで使用してください。
（または、機器用屋内ブレーカを入れてください。）

電源プラグを抜く

他

●定期点検について

- 機器を安心して、より長く使用していただくために、1～2年に1回程度の定期点検をおすすめします。（有料）
〔お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。〕

運転前の準備……

ひとつずつゆっくりと確かめてみましょう。

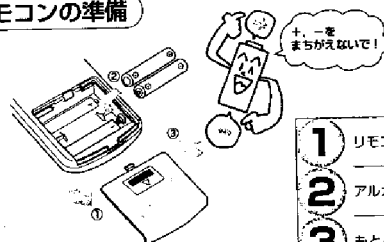
はじめてお使いになる時は

1. 電源プラグを、コンセントに差し込みます。
機器周囲に電源プラグがない場合は、機器用屋内ブレーカを入れてください。
2. ガス栓を全開にします。
3. 給水元栓を全開にします。
4. まわりに燃えやすいものがないか確認します。
室外機の近くに、燃えやすいものがないかよく確かめてください。
ヘアースプレなどの引火物を、近くで使用しないでください。

⚠警告

ぬれた手で電源プラグを触らないでください。感電のおそれがあります。

リモコンの準備

乾電池を入れる

1. リモコン裏面のフタを矢印の方向へ開ける。
2. アルカリ乾電池（単4）2個を入れる。
3. もとどおりフタを閉める。

アドレススイッチについて

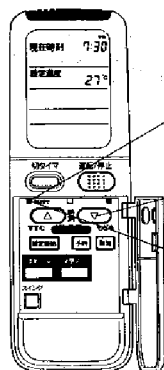
●1部屋に2台の室内機をご使用の場合は、アドレススイッチを合わせる必要があります。8ページの「リモコンのアドレススイッチについて」を参照にしてアドレススイッチを合わせてください。

乾電池についてのお願い

- ●古いものと新しいものや、種類のちがうものをまぜて使わないでください。
- ●マンガン電池は、消耗が早いので使用しないでください。
- ●長期間、ご使用にならないときは、全部取出してください。電池の液漏れで故障することがあります。
- ●乾電池の寿命は、約1年ですが、リモコンのボタンを押したときに、リモコン表示部の電池寿命表示マークが点灯したら新しい電池と交換してください。

運転前の準備…

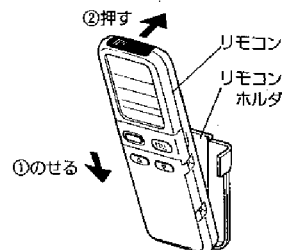
現在時刻を合わせる

現在時刻を合わせないと正しいタイマ予約ができません。

リモコンの取扱いについて

- ●送信部は本体に向けてお使いください。本体とリモコンの間にカーテン、フスマなど信号をさえぎるものがあると作動しません。
- ●リモコンを落したり、水などをかけたりしないでください。
- ●電子式点灯方式の蛍光灯（インバータ蛍光灯）がある部屋では、信号を受けつけない場合があります。このようなときには、お買上げの販売店にご相談ください。
- ●リモコンで他の電気機器が作動する場合は、電気機器を離すか、お買上げの販売店にご相談ください。
- ●リモコンは、室内機からでる冷温風や、日光が直接当たるところや熱源（ストーブや電気カーペットなど）の近くには置かないでください。

リモコンの置場所

●壁などに取付る場合

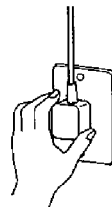
1. 信号が室内機に受信される場所を選んでください。
2. リモコンホルダを付属のネジで、壁・柱などに取付けてください。
3. リモコンをリモコンホルダ下側の爪にのせ、押してください。
4. 設置がすみましたら、本体が信号を確実に受信することを確認してください。正常に受信するときは、「ピッピッ」と音がします。

・取りはずすときは、上へ引き抜く。

●手もとでご使用の場合

- リモコンを操作するときは、送信部を室内機の受信部に向けて操作してください。
- リモコンは、リモコンホルダにのせ保管するようにしてください。

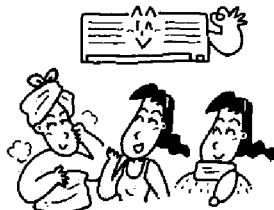
本　体

●電源プラグをコンセントに差込んでください。

- 室内機の電源を、室外機から接続配線し設置されている場合は、室内機の電源プラグの操作はいりません。

こんな運転をしたいとき

お好みの運転をしたいとき

●マニュアル運転

…冷房運転　(→20ページ)
暖房運転　(→21ページ)
ドライ運転　(→22ページ)
送風運転　(→23ページ)

便利な運転をしたいとき

●快適なおやすみに

…切タイマ運転 (→26ページ)

●快適なおめざめに

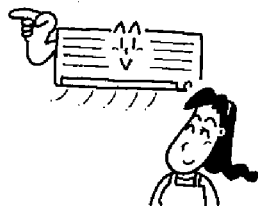
…入タイマ運転 (→25ページ)

●リモコンがみつからないときや、電池切れのときに

…応急運転　(→27ページ)

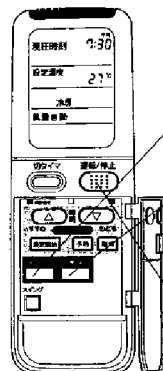
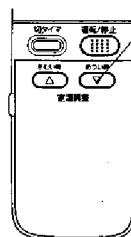
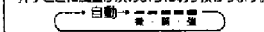
風向きを変えたいとき

●風向調節

(→24ページ)

運転のしかた

冷房運転

お好みの涼しさが簡単に設定できます。

●運　転

1. リモコンの扉を開けて、運転切換ボタンを押し、「冷房」の表示に合わせます。
2. 風量調節ボタンで風量を設定します。
   押すごとに風量が次のように切り換わります。
   自動→微・弱・強
   風量は「自動」または「微」から「強」まで5段
   通常は「自動」をおすすめします。
3. リモコンの扉を閉め室温調整ボタンで温度を設定します。
   冷房時のおすすめ温度は26℃～28℃
4. 運転/停止ボタンを押します。
   「ピッピッ」(運転を開始します。)
   室内機の運転ランプが点灯します。

●停　止

運転/停止ボタンを押します。

「ピッピッ」(運転を停止します。)
室内機の運転ランプが消えます。

こんなときには…

- 長期間停止（1週間以上）していたあとの運転や、はじめてお使いのときは、冷風がでるまで約5分間かかります。
- 外気温が15℃以下、部屋の温度が16℃以下のときは、保護装置が働き運転しないことがあります。
- 多室でご使用のとき、先に運転している部屋の運転モードが優先になります。運転ボタンを押しても運転しないときは、ほかの部屋の運転モードを確認してください。

運転のしかた

暖房運転

その場に合った暖かさを設定してください。

こんなときには…

・長期間停止していたあとの運転は、温風がでるまで約5分間かかります。
・運転開始のとき、冷風吹出し防止のため約5分間ファンが運転しないことがあります。
・多室でご使用のとき、先に運転している部屋の運転モードが優先になります。運転ボタンを押しても運転しないときは、ほかの部屋の運転モードを確認してください。

ドライ運転

お部屋の湿気を取り除きます。

こんなときには…

・多室でご使用のとき、先に運転している部屋の運転モードが優先になります。運転ボタンを押しても運転しないときは、ほかの部屋の運転モードを確認してください。
・ドライ運転時には、風量調節はできません。

運転のしかた

送風運転

切タイマ　運転/停止

扉を閉めた状態

●停　止

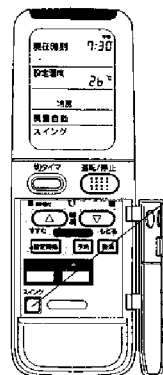
運転/停止ボタンを押します。

本体表示部

「ピッピッ」(運転を停止します。)
室内機の運転ランプが消えます。

風向調節

お部屋のどこでも心地よい風をお届けします。

●上下の風向調節

扉を開けた状態

⚠注意

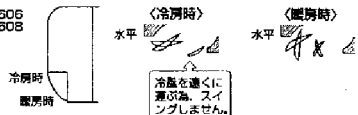
フラップは、直接手で操作せず必ずスイングボタンで操作してください。手での操作は、故障の原因になります。

スイング運転

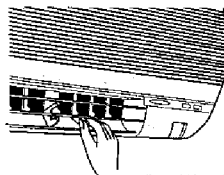
リモコンの扉を開けてスイングボタンを押してください。

• 運転モードに応じてフラップが自動的にスイングします。

スイング停止

フラップの動きを見ながら、お好みの位置でスイングボタンを押してください。
フラップを停止させるときは、下図のような範囲で使用されることをおすすめします。

メモリ機能

お好みの位置でフラップを停止させれば、その位置を記憶し、次回の運転からは、その位置にフラップが停止します。

●左右の風向調節

手でお好みの位置に合わせてください

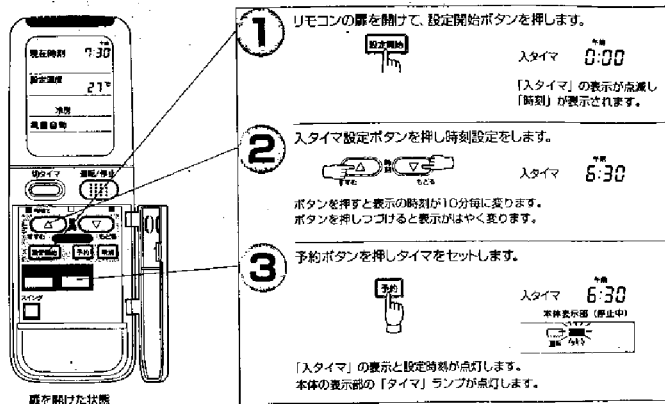
⚠注意

• ルーバのスイング運転中は、左右風向調節は行わないでください。ルーバの作動により手をはさまれけがの原因になります。
• 梅雨どきなど湿度の高いときに、左右風向調節羽根を大きく左右に曲げて冷房・ドライ運転をすると吹出し口付近に露が付着したり滴下することがあります。その場合は、左右調節羽根をまっすぐの位置にしてご使用ください。

運転のしかた

タイマ運転

入タイマと切タイマは組合せて使うこともできます。

●**入タイマ運転**……セットした時刻に運転を開始します。

扉を開けた状態

次回から「予約ボタン」を押すだけで、同じ時刻にセットできます。

こんなときには…

- 電池交換したとき・電源プラグをコンセントから抜いたとき・停電したとき・ブレーカが作動したときは、タイマセットをしなおしてください。
- 「タイマ」ランプは、入タイマ設定中は点灯しつづけますが、入タイマの時刻になり運転が始まると消灯します。

●**切タイマ運転**……お望みの時間に運転を停止します。

1 切タイマボタンを押し時間を設定します。

切タイマ

本体表示部（運転中）

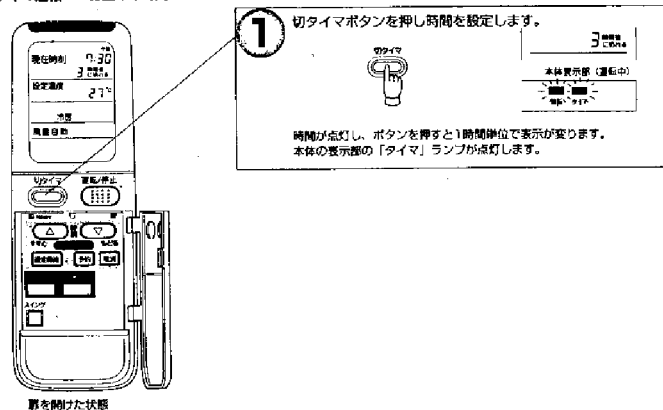
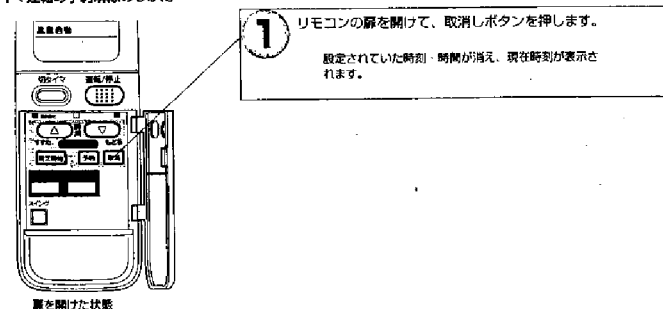
時間が点灯し、ボタンを押すと1時間単位で表示が変ります。
本体の表示部の「タイマ」ランプが点灯します。

扉を開けた状態

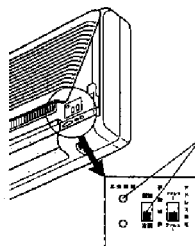
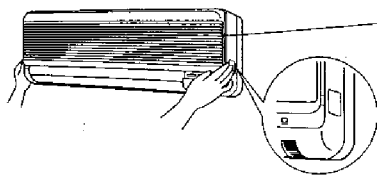
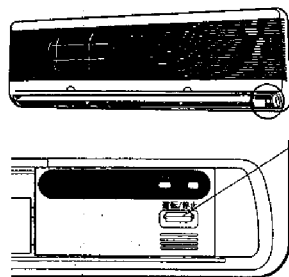
●**タイマ運転の予約解除のしかた**

1 リモコンの扉を開けて、取消しボタンを押します。

設定されていた時刻・時間が消え、現在時刻が表示されます。

扉を開けた状態

運転のしかた

応急運転

リモコンが見つからないときや、電池切れのときなどにご使用になると便利です。

47-605・606
47-607・608の場合

●運　転

1. 前面パネルを開けます。
   前面パネルは、本体左右にある溝の部分の指をかけて、前面パネルを手前に引いてください。
2. 手動切換スイッチで運転モードを選びます。
   運転モードは「冷房」か「暖房」を選びます。
   風量は自動設定になります。
3. 応急運転ボタンを先の細い物で押します。
4. 前面パネルを閉めます。
   前面パネルを本体側へ「パチン」と音がするまでいっぱい押します。

●停　止

前面パネルを開け、応急運転ボタンを先の細い物で押します。

47-603・604の場合

●運転／停止

- 押すと運転を開始します。
  もう一度押すと停止します。
- 運転モードは、室温が22℃以下なら「暖房」
  22℃～26℃は「送風」
  26℃以上は「冷房」となります。
- 設定温度は暖房時は22℃
  冷房時は26℃となります。
- 風量モードは自動となります。

じょうずなつかいかた

こんな心づかいで快適な冷暖房ができ、節電にもつながります。

室内温度の設定は適温に

寒くなるほどの冷やしすぎや、汗が出るほどの暖めすぎは健康によくありません、快適な室温に調節してください。快適室温に保つことは省エネにもつながります。

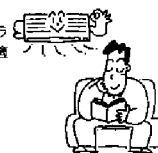
冷暖房効果をアップ!

熱をにげにくくしたり、直射日光をさえぎるカーテンやブラインドは、冷暖房効果をアップさせます。

すきま風を入れないように!

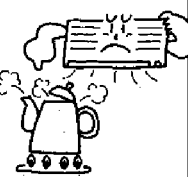
せっかくの冷暖房がむだになってしまいます。ときどきすきま風のチェックを忘れずに。

風向き・風量調節をじょうずに活用

暖房は天井近くにたまり、冷気は床近くにたまります。風向・風量調節でムラをなくし快適な空間で快適な生活を。

タイマ運転を有効に

冷暖房のかけっぱなしはむだばかりでなく健康にもよくありません。タイマ運転で必要なときにだけ運転を！

冷房時には熱源をさけて効率的に

冷房運転中は、熱源の使用（コンロを使用やアイロンかけなど）をさけ効率よく冷房しましょう。

エアーフィルタの掃除はこまめに

エアーフィルタの目づまりは、冷暖房能力が落ちるばかりでなく機器の故障にもつながります、こまめに掃除をしむだを防ぎましょう。

ときどき換気を!

1時間に1～2分程度の換気が必要です。冷暖房中にガス機器・石油機器を使用するときは必ず換気してください。

凍結による破損予防について

暖かい地域でお使いのお客様も、必ずお読みください。

●冬期は暖かい地域でも、給水・冷温水配管の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。
こうした事故を予防するために、次のような処置をしてください。

⚠注意

給水元栓・給水管などの凍結は予防できませんので、必ず保温材や電気ヒータを巻くなどの措置をしてください。

通常の場合（冷暖房をお使いでない場合でも電源は切らないでください。）

凍結予防ヒータとポンプ運転による方法

●操作方法

この機器には、外気温が下がると自動的に機器本体内の配管を保温するヒータと自動冷温水ポンプ運転装置が組込まれています。特別な運転操作は必要ありませんが、次のことを注意・確認してください。

- 電源プラグがコンセントに差し込まれている（機器用屋内ブレーカが「入」になっている）ことを確認してください。抜けていると作動しませんので注意してください。（室外機、室内機すべて確認してください。）
- 外気温が極端に低くなる（−10℃未満）場合は、下記の水抜きによる方法が有効です。

長期にわたり、やむを得ず電源を「切」にする場合（詳しくは36ページをご覧ください。）

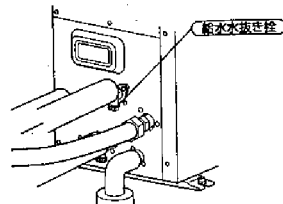
水抜きによる方法

- 機器内の水を抜き、凍結を予防する方法です。
- 不凍液が入っていない場合で、やむを得ず長期間にわたって機器を使用せず電源を「切」にするときに行います。（電源プラグを抜くか、機器用屋内ブレーカを「切」にしたときにのみ行ってください。）

①給水配管の水抜き

1．給水元栓を閉めます。
2．給水接続口の水抜き栓を開けてください。

- 水抜き栓を開けますと、約400ccの水が出ますので適切な受け皿を用意してください。

全部の水抜きが終わりましたら、開けた水抜き栓を閉めます。水抜き栓は、ゆっくり閉めてください。次ページへつづく

水抜きによる方法 （つづき）

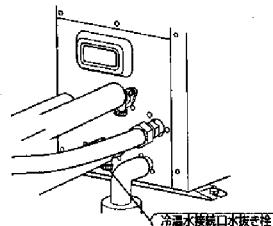
②冷温水配管の水抜き

冷温水配管の水抜きは、冷温水接続口と機器本体前板の2カ所で行います。

◎冷温水接続口の水抜き

1．室内機の運転をすべて、停止してください。
2．ガス栓を閉めてください。
3．給水元栓を閉めてください。
4．電源プラグを抜くか、機器用屋内ブレーカを「切」にしてください。
5．冷温水接続口の水抜き栓を開けてください。

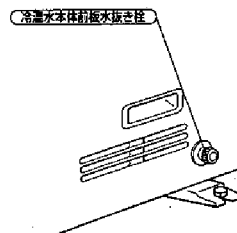
水抜き栓を開けますと機器から約3000ccの水が出ますので適切な容器を準備してください。

⚠注意

暖房の使用後は、機器内の温水が高温になっていますので、機器が完全に冷えてから水抜きを行なってください。（運転停止後約1時間）
やけどをするおそれがあります。

◎機器本体前板の水抜き栓による水抜き

冷温水接続口の水抜きに続いて行います。

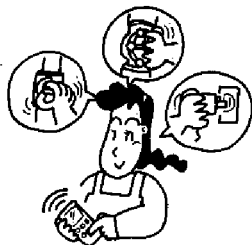
6．水抜き栓のつまみをゆっくり回します。

徐々に水が出ます。

全部の水抜きが終わりましたら、開けた水抜き栓を閉めます。水抜き栓は、ゆっくり閉めてください。

凍結による破損予防について

水抜き後、再び冷暖房運転される場合は…

再度使う時は、まず、水抜き栓がしっかり閉められていることを確認し次の手順で運転の準備をしてください。

1. 電源プラグをコンセントに差し込んでください。または、機器用屋内ブレーカを「入」にしてください。
2. ガス栓を全開にしてください。
3. 給水元栓を全開にしてください。
4. 室内機で、運転スイッチを入れ運転できることを確認してください。
   ※運転スイッチを入れたと同時に、機器本体が自動的に給水漏水確認を行い、冷（暖）房運転を開始しますので再使用の最初は、運転に時間がかかります。

もし凍結して運転ができないとき

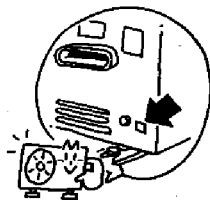
万一凍結して運転ができない時は、次の処置を行ったうえ水漏れの確認を行ってください。

1. リモコンの運転スイッチを「切」にする。
2. ガス栓を閉める。
3. 給水元栓を閉める。
4. 少し気温が上がったら、ときどき運転ができるか確認する。
5. 運転ができるようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認の上、使用してください。

凍結したまま使うと機器に異常が生じる場合があります。
凍結により、機器や配管が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

不凍液について

冷温水側の凍結予防には不凍液を使用している場合もあります。（使用している場合は、機器前面右下にラベルを貼付け表示してあります。）
不凍液は適正濃度を保つため1年に1度点検が必要です。
お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

- 不凍液の使用については、機器前面右下にラベルを貼付・表示してあります。
  - 不凍液が入っているときには
    不凍液が入っています
  - 不凍液は入っていないときには
    不凍液が入っていません

知っておいていただきたいこと……

もう一度、確かめておきましょう

運転モード（冷房・暖房・ドライ）の優先は	・冷房運転・暖房運転・ドライ運転のときで多室でご使用になるときは、先に使用している部屋の運転モードが優先となります。他の部屋でご使用になるときは、その運転モードだけでの運転となり他のモードでの運転はできません。
冷房運転時には	・長期間（1週間以上）停止していたあとの運転や、はじめてお使いのときは、冷風がでるまで5分間程度かかります。 ・外気温が15℃以下および部屋の温度が16℃以下のときには、保護装置が働き運転しないことがあります。 ・湿度が高い（80%以上）ときの長時間冷房運転か、ドライ運転をしますと吹出口付近に露がつき落ちることがあります。
暖房運転時には	・長期間停止していたあとの運転は、温風がでるまで5分間程度かかります。 ・運転開始のとき、冷風が吹き出さないように室内機が暖まるまで約5分間ファンが運転しないことがあります。
冷房運転と暖房運転の切換には	・冷房運転・暖房運転の切換には、少し時間がかかります。
ドライ運転時には	・風量調節はできません。
風量切換は	・自動に設定すると、室温の変化に合わせてきめ細かく風の強さを切換えます。「弱風」「微風」設定時は、機器の最大能力での運転はしません。
室温調節は	・お子様やお年寄り、身体のご不自由な方がお使いのときは、周囲の方が常に注意してください。
テレビ・ラジオなどをお使いの際は	・1メートル以上離してください。 映像や音声に乱れが起こることがあります。
停電時には	・運転中に停電の場合、すべての運転を停止します。 再開するときは、停止状態になっていますので、運転/停止ボタンを押し直してください。
雷のときは	・運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。 ・雷が過ぎさかったことを確認したら、電源プラグをもとどおりコンセントにしっかり差し込んでください。
断水時には	・長時間断水が続く場合は、運転が停止することがあります。 ・断水した場合は、給水栓を閉じ運転を停止してください。 再開する場合は、停止状態になっていますので、運転/停止ボタンを押し直してください。
異常時には	・まず、取扱説明書の「故障かな？と思ったら」をみて点検してください。 それでも異常のある場合は、お買い求めの販売店または大阪ガスへご連絡ください。
転居や移設をされる時は	・転居や別の部屋に機器を移されるときは、専門の技術が必要です。 必ずお買い求めの販売店にご相談ください。 （この場合の実費はいただきます。） ・ご自分で移設を行いますと水が吹出したり、配管や配管の接合部分が破損したりして故障の原因になることがあります。また、不備があると火災の原因にもなりますので、必ず、専門業者におまかせください。
凍結予防機能について	・外気温が3℃以下になると、室外機が凍結予防の自動運転を行い凍結を防ぎます。 寒冷地の場合は、冬期には必ず電源プラグを入れたままにしておいてください。

日常の点検とお手入れ……

安全にお使いいただくために

チェックポイント

- ●機器まわりに燃えやすいものはありませんか？
- ●機器の外観に異常はありませんか？
- ●室外機まわりから、ガスの臭いがしませんか？
- ●電源コードやプラグは傷んでいませんか？
- ●機器は傾いていませんか？

⚠警告

●ご自分で機器の修理・分解はしないでください。
不備があると感電や火災の原因になります。

室内機のお手入れ

●エアフィルタのお手入れ……2週間に1度はお掃除を

1 前面パネルを開けます。

（47-603·604型の場合は前面パネルを開ける必要はありません。）
本体左右にある溝の部分に指をかけて、前面パネルを手前に引く。

2 エアフィルタを取出します。

●47-605·606 607·608型の場合
エアフィルタの中央部にあるツマミを上へ押し上げて下方向に取出す。

●47-603·604型の場合
エアフィルタの中央部の取っ手に指をかけ下方向に取出す。

3 エアフィルタを掃除します。

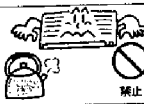
- 水洗いするか、掃除機で吸いとる。
- 汚れのひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗う。
- 洗った後は、日陰でよく乾かす。

4 エアフィルタを取付けます。

- エアフィルタを入れないで運転すると、ホコリを取る効果がなくなり、運転効率が悪くなったり、故障の原因になることがあります。

⚠注意

●お手入れは手袋などで指先を保護し機器が十分に冷えてから行ってください。

●50℃以上のお湯は使用しないでください。
変形や変色の原因になることがあります。

●掃除の時は必ず運転を停止し、電源プラグを抜いてください。
内部でファンが高速で回転していますので、ケガの原因になることがあります。
※必ず、プラグ部をもって抜いてください。

●濡れた手でスイッチを操作しないでください。
感電のおそれがあります。

本体・リモコンのお手入れ

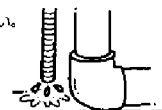
●室内機本体のお手入れは、やわらかい布でからぶきします。
汚れがとれないときは、水をふくませてふくと汚れがとれやすくなります。

●リモコンのお手入れは、やわらかい布でからぶきします。

⚠注意

- ベンジン・シンナー・みがき砂などは、機器を傷めることがありますので使用しないでください。
- 熱いお湯（50℃以上のお湯）は使用しないでください。変形や変色の原因になることがあります。
- リモコンのお手入れは水を使用しないでください。

排水ホースの点検・お手入れ

冷房運転などを行っているとき（室内機から冷風が吹出しているとき）、屋外の排水ホースから、水が排水されていることを確認してください。（ただし、運転してもすぐには排水されません。）
排水されていない場合は、排水ホース内で、ゴミ・ホコリ等がつまっていることが考えられ、室内機から水がもれる恐れがあります。
運転を停止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

室外機の点検・お手入れ

●クーリングユニットフィルタのお手入れ
2週間に一度は、落ち葉、ゴミなどがフィルタに付いていないか点検をしてください。もし落ち葉などがついている時は、ほうきなどで取り除いてください。落ち葉などがフィルタについたままで使用しますと能力が落ちたり、機器の運転ができなくなります。

●機器本体のお手入れは…
汚れはていねいに拭きとってください。
やわらかな布でお湯か水で汚れを拭き取ります。

●配管部分のお手入れは…
時々配管部分を点検し、変形やぐらぐらして不安定な箇所はないかなどチェックしてください。万一変形などがある場合は、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

⚠注意

- 掃除の時は必ず運転を停止してください。内部でファンが高速で回転していますので、けがの原因になることがあります。
- お手入れは手袋などで指先を保護し機器が充分に冷えてから行ってください。

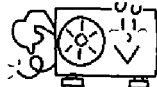
日常の点検とお手入れ

シーズン前の点検

●末長く安全にお使いいただくため、次のことを確認してください。
異常な場合は、お買い上げの販売店または大阪ガスにご連絡ください。

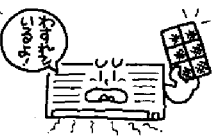
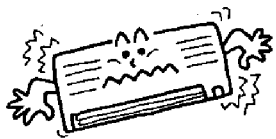
⚠警告

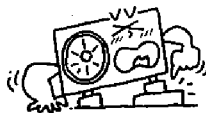
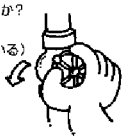
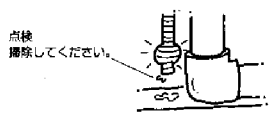
●室外機のアース線がはずれていませんか？
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

アースをする

⚠注意

●室内機まわりの点検
・室内機の近くに可燃物はありませんか？
（9ページ～15ページ参照し点検してください。）

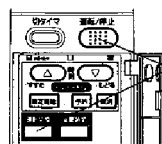
・リモコンに電池が入っているか？
また、電池は消耗していないか？

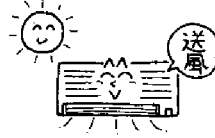
・エアフィルタは入っていますか？

・機器が傾いたり、ぐらついたりしていませんか？

●室外機まわりの点検
・室外機の近くに可燃物はありませんか？
（9～15ページ参照し点検してください。）

・据付台が傷んでいませんか？
また、機器が傾いていませんか？

・ガス栓・給水元栓は開いていますか？
また、全開になっていますか？
配管に不安定な（ぐらついている）箇所はありますか？

・室外機の排水・室内機からの排水ホースの部分がゴミ・枯葉などで埋っていませんか？

長期間使用しない場合……

長期間ご使用にならない場合は、次のことを行っておいてください。

室内機・リモコンのお手入れ

●晴れた日に半日ほど送風運転して、内部をよく乾燥させてください。
送風運転のしかた：詳しくは23ページ参照

1 運転切換ボタンを押し「送風」を選んでください。

2 運転／停止ボタンを押し運転をスタートさせます。

●エアフィルタを掃除してから、もとどおり取付ける。

●リモコンの電池をはずし液漏れによる腐食を防止してください。

室外機のお手入れ

長期間運転せず、やむを得ず電源を切る場合は、次のことを行ってください。
ただし、不凍液が入っている場合（室外機の右下に表示）は、水抜きをしないでください。

●冬期の凍結防止の為できるだけ電源は入れたままにしておいてください。

1 リモコンで運転を停止してください。

2 機器が冷えるまでじゅうぶん待ってください。

⚠注意
暖房の使用後は、機器内の温水が高温になっていますので、機器が完全に冷えて（約1時間）から水抜きを行う必要があります。
やけどをするおそれがあります。

3 電源プラグを抜きます。または、機器用屋内ブレーカを「切」にしてください。

⚠注意
ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電のおそれがあります。

4 ガス栓と給水元栓を閉めてください。
（くわしくは3ページをご覧ください。）

ガス栓を閉める

給水元栓を閉める

5 機器の水抜きをしてください。
（29・30・31ページをご覧ください。）
※冬期は暖かい地域でも給水・冷温水配管の水が凍結し、配管の破損事故が起こることがあります。
こうした事故を防ぐために機器の水抜きを行い凍結予防処置を行ってください。

水抜きをする

故障かな？と思ったら

まずチェックしてみましょう

つぎのことをお調べください……

こんな時は	ここを点検してみましょう
運転しない時	●室外機のガス栓が開いていますか？ また、全開になっていますか？ ●給水栓が開いていますか？ また、全開になっていますか？ ●断水ではありませんか？ ●電源プラグはコンセントにしっかり入っていますか？ ●ブレーカが切れていませんか？ ●停電ではありませんか？ ●リモコンを室内機の受信部に向けていますか？ ●リモコンに電池が入っていますか？ また、電池が減っていませんか？ ●リモコンの電池のプラスマイナスが逆になっていませんか？
よく冷えない時 よく暖まらない時	●部屋の窓や戸が開いていませんか？ ●室外機のガス栓は全開になっていますか？ ●給水栓は全開になっていますか？ ●室温調整が、適切な温度になっていますか？ ●エアーフィルタにほこりがつまっていませんか？ また、掃除がされていますか？ ●室内機の吸込口がふさがれていませんか？ ●冷風・温風の出口がふさがれていませんか？ ●運転モードの冷房・暖房が逆になっていませんか？ ●他の部屋で、別の運転モード（冷房：暖房：ドライ）での運転をしていませんか？

こんな場合は故障ではありません……

冷房運転のとき

こんな現象の時は	故障ではありません
はじめて運転するとき なかなか点火しない	ガス管の内部に空気が入っているためです。 空気を逃がすためにもう一度、運転操作をしてください。
点火したとき、室外機からポッと音がする	バーナに点火した音です。
点火・消火したあとに、室外機・室内機が「ピシピシ」と音をたてる	室外機・室内機内部が、収縮・膨張する音です。
運転開始後、室外機から「パリパリ」と音がする	室外機が点火し運転が開始されたときの音ですので異常ではありません。約1分でなくなります。
クーリングユニットから「ゴボッゴボッ」と音がする	クーリングユニットが冷却水を給水しはじめている音です、給水が完了するとなくなります。（約1分）
クーリングユニットや排気口から湯気が出る	クーリングユニットから出る風や燃焼した排気ガスは、水蒸気をたくさん含んでいます。これが外気と触れると白く見えるためですので問題はありません。
排水口からときどき水が出る	クーリングユニットの水質が悪化するのを防止するためにときどき排水するためです。
点火してもすぐに冷風がでてこない	冷風がでるまで5分間程度かかることがあります。もうしばらくお待ちください。
室内機から吹出す風が臭う	お部屋や家具、たばこのにおいなどが室内機に付着し、吹出されているためです。
運転中や停止直後に、室内機から「シュルシュル」音がする	室内機内部の冷水が流れる音です。
冷風吹出し口のまわりに水（ドレン）がつく	使用条件によって、水がつく場合があります。 ぞうきんなどで拭きとってください。
冷風吹出し口から霧が出る	吹出した冷風で部屋の空気が冷やされ、霧のように見えるためです。

故障かな?と思ったら……

こんな場合は故障ではありません……

暖房運転のとき

こんな現象の時は	故障ではありません
はじめて運転するときなかなか点火しない	ガス管の内部に空気が入っているためです。 空気を逃がすためにもう一度、運転操作をしてください。
点火したとき、室外機からボッと音がする	バーナに点火した音です。
点火・消火したあとに、室外機・室内機が「ピシピシ」と音をたてる	室外機・室内機内部が、収縮・膨張する音です。
運転開始後、室外機から「パリパリ」と音がする	室外機が点火し運転が開始されたときの音ですので異常ではありません。約1分でなくなります。
排気口から湯気が出る	燃焼した排気ガスは水蒸気をたくさん含んでいます。 これが外機と触れると白く見えるためですので問題はありません。
冬期など寒いとき運転してないのに室外機から運転音がする	凍結予防運転を行っているためです。外気温が約3℃以下になると自動的に運転を開始し、約7℃になると自動的に運転がとまります。
点火してもすぐに温風がでてこない	機器が十分暖まっていないためです。 温風がでるまで5分間程度かります。
室内機から吹出す風が臭う	お部屋や家具、たばこのにおいなどが室内機に付着し、吹出されているためです。
運転中や停止直後に、室内機から「シュルシュル」音がする	室内機内部の湿水が流れる音です。

リモコンが故障かな?と思ったら……

まず、電池が入っているか?電池が消耗していないか?点検してください。
電池が消耗すると、リモコンの表示部に電池の絵が表示されます。

こんな時は	ここを点検してみましょう
運転/停止ボタンを押しても機器から作動音がしない	・リモコン送信部と室内機受信部の位置はあっていますか? リモコン送信部を室内機の受信部に向け、運転/停止ボタンを押してください。
ボタンを押しても運転しない	・ボタンを押し間違えていませんか? 運転/停止ボタンを押してください。
温度設定ボタンを押しても、温度表示が出ない	・送風運転モードになっていませんか? 送風運転の場合は、表示はでません。 ・ドライ運転モードのときは、温度表示はでません。 「高・標準・低」で表示されます。
風量調節ボタンを押しても、設定変更ができない	・ドライ運転モードになっていませんか? ドライ運転の場合は風量が自動設定になります。
時間がたつと、表示がすべて消える	・切タイマ運転が終わったのではないですか? 現在時刻の表示だけは残ります。

リモコンが故障した場合は?……

応急運転のしかたを確認してください。

リモコンの故障や紛失、あるいは電池切れなどの際には、応急的な運転ができます。
応急運転のしかたの項（27ページ参照）をお読みください。

故障の場合は、まずは販売店・当社へのご連絡を！

⚠警告

- いままでの内容をお調べになっても、なおわからない時や、異常が続くときは、すぐに運転を停止し電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店または大阪ガスへご連絡ください。
  異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因になります。

保証とアフターサービス……

必ずお読みください。

点検・修理を依頼される前に

⚠警告

- 35ページの「故障かな?と思ったら」の項を見てもう一度ご確認ください。
  確認のうえそれでも不具合な場合、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因になります。

●アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。

(1) 品　名　ガス吸収式冷暖房機　室内機
(2) 品　番…右側面に貼付してあります。

(例) 47-605の場合

47-605
大阪ガス株式会社

(3) 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
(4) ご住所・お名前・電話番号・道順
(5) 訪問ご希望日

転居または機器を移設される場合

ガスには都市ガス13種類およびLPガスの区分があります。銘板に表示してあるガス・電源以外では使用しないでください。ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、転居先のもよりのガス事業者にご相談ください。この場合調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。
ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。
また、機器を移設される場合にも、専門の技術が必要となりますので、お買い求めの販売店、または、もよりの大阪ガスにご相談ください。この場合、移設に要する費用は保証期間内でも有料となります。

⚠警告

- 転居された場合もガスの種類、電源の種類が一致していることを確認してください。
  間違っていると修理できない故障や不完全燃焼及び爆発点火の原因になります。
- ご自分での修理・移動や再設置はしないでください。
  不備があると感電や火災の原因になります。

保証について

この機器には保証書がついています。
当社は保証書に記載してあるように、機器の販売後、機器に故障がある場合、一定期間と一定条件のもとに、無料修理に応じることをお約束します。（詳細は保証書をご覧ください。）
この機器の保証期間はお買い上げの日から2年間です。
保証書を紛失されますと無料修理期間であっても修理費をいただく場合がありますので大切に保管してください。

補修用性能部品の最低保有期間について

無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。
修理によって性能が維持できる場合は有料修理致します。なお、当社は販売店からの注文により補修用性能部品を販売店に供給します。
ガス吸収式冷暖房機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後10年です。
(1) この期間は通商産業省の指導によるものです。
(2) 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービス等についてわからないとき

お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。裏表紙の住所一覧表を参照してください。

点検整備のおすすめ

- 快適に、ご使用いただくために定期的に点検整備を受けられることをおすすめします。
- 点検整備は、お買上げの販売店またはもよりの大阪ガスにお申しつけください。点検整備の内容は、機能部品の点検、確認及び清掃整備です。
  この場合は有料となります。

アフターサービスについてご不明の点がありましたら、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにお問い合わせください。

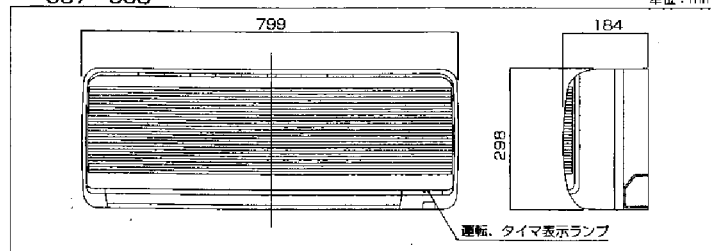
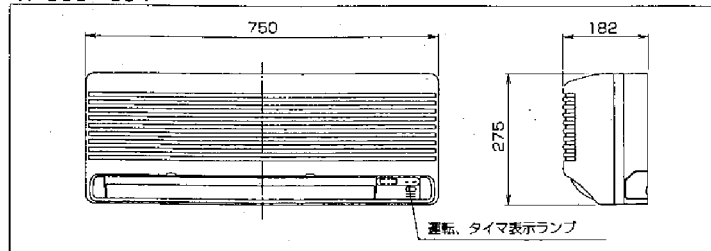
仕様

品名	47-603 47-604	47-605 47-606	47-607 47-608
種類	冷房・暖房兼用タイプ		
電源	単相100V 50／60Hz		
定格冷房能力（kW）	1.6	2.0	2.5
定格暖房能力（kW）	2.5	3.0	3.6
消費電力（W）	31	18	31
外形寸法（mm） 高さ×幅×奥行き	275×750×179	298×799×184	
製品質量（kg）	8	9	9
付属品	取扱説明書　工事説明書　保証書　据付板　型紙 据付スペーサ　ネジ（φ5×258本）　リモコン リモコンホルダ　乾電池　リモコンホルダ取付ネジ 通信用コネクター　断熱筒　インシュロック		

●停止のときもマイコンを働かせるため、約12ワットの電力を消費します。

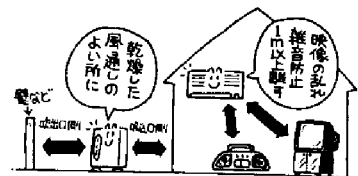
外形寸法

47-605・606
607・608

単位：mm

47-603・604

設置について

据付け場所について

- 据付け場所に余裕があれば、効率のよい運転のために、できるだけ広い寸法をおとりください。
- 室内機からの排水は、水はけのよい所に流してください。
- 機器（室内機・室外機とも）の重量に十分耐える場所で、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。
- 室外機の吹出し口からの風や運転音が、隣家の迷惑にならないような場所を選んでください。

- 室外機の吹出し口の近くに物を置きますと、能力低下や騒音増大のもとになりますので吹出し口付近に物を置かないようにしてください。
- 可燃性のガスの漏れるおそれのあるところや、蒸気、油煙の発生するところには設置しないでください。
- 工場・海浜地区・温泉地帯など特殊なところでご使用になりますと、腐食などにより故障の原因になることがあります。
- 高温になるものの近くや、積雪その他により、室外機の吹出口をふさぐような場所には設置しないでください。
- ビルの上階部など、常時風の当たるところには設置しないでください。
- ノイズの発生する高周波機器、無線機器などがあるところには設置しないでください。

電気配線について

- 室外機の電源は、専用回路をご使用ください。他の電気機器と共用すると、ブレーカやヒューズが切れることがあります。
- タコ足配線や配線途中での接続は、感電や発熱・火災の原因になりますのでしないでください。
- 室外機には、必ずアースを取付けてください。

⚠警告

設置には専門の技術が必要です、移設のときなどは必ずお買い上げの販売店または、大阪ガスにご相談ください。
このような場合は、移設に必要な実費をいただくことになります。